

晩秋通信 ～

2号 (2004.8)

コーヒー豆価格表のこの裏面を使って、お客様に何かスペシャルティーコーヒーのことをお伝えできないかな？と考え、通信形式として続けていく形にしました。1号がご挨拶、そしてこれが2号です。

さて、オープンから1ヶ月が過ぎました。晩秋がどういうお店なのか少しずつお客様にご理解して頂いていっている段階だと思います。「カフェがある」、「コーヒー豆の販売に力を入れている」、「スペシャルティーコーヒーを販売している」、「フレンチプレスでの抽出を薦めている」、「水出しコーヒーをやっている」、「ケーキは手作り」、「ジャズが流れている」・・・キーワードをあげるとするところといった感じでしょうか。

今回は、それらのキーワードを包み込む「晩秋」という店名の由来について、お話したいと思います。ズバリ、映画のタイトルからとってます。

スティーブン・スピルバーグが1990年に製作した「DAD」という家族映画の邦題からとりました。10年以上、前に見た映画ですし、当人もおぼろげに覚えている程度なのですが、非常に印象的な映画でした。

少しずつ寒くなっていく秋の終わり、そんな季節に口にするコーヒー、コーヒータイムを楽しむ団欒の場、そこには温かみがあり、人と人との繋がりがあり、ぬくもりがあります。

そういった空間と時間、そしてコーヒーをお客様に提供していきたいとつけた店名です。その名に恥じないお店にしていきたいと思いますので、よろしくお願いします。